



2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年1月14日

上場会社名 株式会社エスエルディー 上場取引所 東
 コード番号 3223 URL http://www.sld-inc.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 伴 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長CFO (氏名) 鯛 剛和 TEL 03-6866-0245
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の業績 (2019年3月1日～2019年11月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	3,649	—	△36	—	△30	—	△35	—
2019年2月期第3四半期	3,654	△6.6	△42	—	△42	—	2	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	△24.36	—
2019年2月期第3四半期	1.55	1.54

(注) 1. 当第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

2. 2019年2月期は決算期変更により変則決算 (自 2018年4月1日 至 2019年2月28日) であったため、2020年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第3四半期	1,356	295	21.5	195.18
2019年2月期	1,390	227	16.3	162.37

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 291百万円 2019年2月期 226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年2月期	—	0.00	—		
2020年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年2月期の業績予想 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,017	—	30	—	14	—	5	—	3.68

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2019年2月期は決算期変更により変則決算 (自 2018年4月1日 至 2019年2月28日) であったため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期3Q	1,491,264株	2019年2月期	1,397,280株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	84株	2019年2月期	45株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期3Q	1,468,316株	2019年2月期3Q	1,388,453株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
(重要事象等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による各種政策の効果もあって景気は穏やかな回復基調であったなかで、2019年10月1日からの消費税率引き上げに係る消費者心理の冷え込みに加え、台風等の相次ぐ自然災害による影響等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

そのような状況下において、当事業年度においては、飲食サービスの健全な成長、コンテンツ企画サービスの拡大を経営施策として掲げ、業容の拡大に取り組んでおります。

(飲食サービス)

飲食サービスにつきましては、前事業年度から開始しているディナー帯予約獲得に向けた各グルメ媒体に係る取り組みや、店舗におけるQSCAの向上等の集客改善に向けた各種施策の効果は定着しているものの、年間における売上高の季節指数が比較的低い当第3四半期会計期間において、台風等の天候不良の影響を大きく受けたことにより売上高は伸び悩みました。なお、当第3四半期会計期間において1店舗の退店を実施したことにより、飲食サービスに係る店舗数は50店舗となりました。これらの結果、飲食サービス売上高は3,051百万円となりました。

(コンテンツ企画サービス)

コンテンツ企画サービスにつきましては、2019年9月20日付開業の株式会社ポケモンのオフィシャルショップ「ポケモンセンターオーサカDX（ディーエックス）&ポケモンカフェ」に係るカフェ店舗及び2019年11月16日付開業の株式会社スクウェア・エニックスの公式カフェ「SQUARE ENIX CAFE Osaka（スクウェア・エニックス カフェ オオサカ）」の運営を新規に受託する等堅調に推移いたしました。これらの結果、コンテンツ企画サービス売上高は597百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は3,649百万円となりました。利益面につきましては、上記飲食サービス売上高の伸び悩み、及び「SQUARE ENIX CAFE Osaka」の開業に係る費用発生、また、2019年4月運営開始のコラボレーションイベントに特化した新業態「Collabo_Index（コラボスペースインデックス）」が導入期かつ試験的段階であり、利益貢献に至っていないこと等により、営業損失36百万円、経常損失30百万円、及び四半期純損失35百万円となりました。

※2019年2月期は決算期変更により変則決算（自 2018年4月1日 至 2019年2月28日）であったため、対前年同期との比較分析に関する記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して34百万円減少し、1,356百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して5百万円減少し、674百万円となりました。これは主に、現金及び預金91百万円の減少、売掛金61百万円の増加等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して28百万円減少し、682百万円となりました。これは主に、敷金及び保証金17百万円の減少、減価償却による有形固定資産14百万円の減少等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して102百万円減少し、1,061百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して6百万円増加し、868百万円となりました。これは主に、短期借入金100百万円の減少、未払金30百万円の増加、未払費用33百万円の増加等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比較して108百万円減少し、192百万円となりました。これは主に、長期借入金92百万円の減少、長期未払金16百万円の減少等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して67百万円増加し、295百万円となりました。これは主に、当社の親会社に該当する株式会社DDホールディングスに対する現物出資による方法で割り当てた新株式の発行に伴う資本金及び資本準備金それぞれ49百万円の増加等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期第3四半期会計期間においては、台風等の天候不良の影響による飲食サービス売上高の伸び悩み、また、上述のコラボレーションイベント特化型業態が利益貢献に至っていないものの、新規の店舗運営業務の受託

は順調に獲得できております。以上から、2019年4月11日付「2019年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	379,882	288,051
売掛金	179,442	240,631
原材料及び貯蔵品	25,226	25,591
その他	95,260	119,954
流動資産合計	679,812	674,228
固定資産		
有形固定資産		
建物	647,480	639,388
減価償却累計額	△419,310	△427,827
建物（純額）	228,170	211,561
機械及び装置	9,000	9,000
減価償却累計額	△6,340	△7,006
機械及び装置（純額）	2,659	1,993
工具、器具及び備品	221,517	223,903
減価償却累計額	△201,281	△201,462
工具、器具及び備品（純額）	20,236	22,440
建設仮勘定	—	691
有形固定資産合計	251,065	236,686
無形固定資産	1,433	3,523
投資その他の資産		
投資有価証券	—	1,500
敷金及び保証金	453,324	436,194
その他	5,293	4,515
投資その他の資産合計	458,617	442,210
固定資産合計	711,117	682,420
資産合計	1,390,929	1,356,649

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	100,843	124,128
未払金	77,926	108,127
未払費用	153,667	187,355
短期借入金	300,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	151,836	125,620
未払法人税等	17,109	12,387
資産除去債務	5,969	1,131
その他	54,354	109,458
流動負債合計	861,706	868,208
固定負債		
長期借入金	176,033	83,679
資産除去債務	67,750	66,639
その他	57,570	42,522
固定負債合計	301,354	192,840
負債合計	1,163,060	1,061,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	284,837	334,837
資本剰余金	268,837	318,837
利益剰余金	△326,714	△362,482
自己株式	△91	△139
株主資本合計	226,868	291,051
新株予約権	1,000	4,547
純資産合計	227,869	295,599
負債純資産合計	1,390,929	1,356,649

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2019年3月1日 至 2019年11月30日）
売上高	3,654,452	3,649,106
売上原価	966,569	956,017
売上総利益	2,687,882	2,693,088
販売費及び一般管理費	2,730,815	2,729,608
営業損失（△）	△42,932	△36,519
営業外収益		
受取利息	3	3
受取保険金	1,385	235
固定資産売却益	5,478	329
店舗閉鎖損失引当金戻入益	4,621	—
協賛金収入	2,196	1,292
受取補償金	—	19,912
受取賃貸料	3,853	13,701
助成金収入	340	—
その他	3,210	1,221
営業外収益合計	21,088	36,696
営業外費用		
支払利息	5,185	3,556
賃貸料原価	6,882	15,014
支払補償費	97	—
支払手数料	—	9,609
雑損失	5,440	—
その他	3,107	2,415
営業外費用合計	20,712	30,597
経常損失（△）	△42,557	△30,420
特別利益		
受取補償金	64,962	—
特別利益合計	64,962	—
特別損失		
固定資産除却損	15,357	714
特別損失合計	15,357	714
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	7,047	△31,134
法人税、住民税及び事業税	4,896	4,634
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	4,896	4,634
四半期純利益又は四半期純損失（△）	2,150	△35,768

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2019年5月7日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により普通株式93,984株を発行いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ49,999千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が334,837千円、資本剰余金が318,837千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

（重要事象等）

当社は、前事業年度において、営業損失12百万円、経常損失16百万円、当期純利益21百万円を計上し、当第3四半期累計期間は、営業損失36百万円、経常損失30百万円、四半期純損失35百万円を計上いたしました。

当第3四半期累計期間において四半期純損失を計上したものの、過年度からの本社機能及び営業管理機能の業務改善（BPR）の取り組みにより実現した大幅なコスト削減の継続、また、飲食サービスの業績改善は進んでおり、さらには主に利益率の高い店舗運營業務の新規受託案件も獲得できていることから、当面の運転資金は十分に確保できる状況であり、継続企業の前提に関する不確実性は認められないと判断しております。

当該状況を解消又は改善すべく当社は、「飲食サービスの健全な成長」及び「コンテンツ企画サービスの拡大」を当事業年度の経営施策として掲げ、飲食店舗運営による収益のみならず、IPコンテンツとリアル店舗を掛け合わせたイベントの企画運営等を積極的に展開することで新たな収益源の確保を図ります。